

審査 設計者

建設工事名 岡部町殿地内導水管布設工事

路線河川名	建設工事箇所	藤枝市	岡部町	殿	地内
-------	--------	-----	-----	---	----

建設工事金額

工 期 令和 8 年 3 月 1 3 日限り 週休 2 日推進工事補正 (週単位 (完全週休 2 日))

建設工事概要

施工延長	126.7	m
HPE径100	120.9	m
FEP径100	233.8	m
ハンドホール	5	基

歩掛・単価適用年度 令和 7年 10月 基本単価 令和 7年 10月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定



内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図



工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 市単					
- - 管材	式	1			
- - - HPE径100	式	1			
- - - - 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ100	式	1			
- - - - 配水P用 EF片受ベンド (片受片挿) φ100×90°	本	24			
- - - - 配水P用 EF片受ベンド (片受片挿) φ100×22° 1/2	個	2			
- - - - 配水P用 EFベンド (両受) φ100×11° 1/4	個	1			
- - - - EFソケット φ100	個	1			
	ヶ	2			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 配管工	式	1			
- - - 管路土工	式	1			
- - - - 舗装版切断	m	290			SP 1号表
- - - - 舗装版破碎	m ²	180			SP 2号表
- - - - AS設置搬処分	m ³	9			第 1号表 M0002
- - - - AS濁水運搬処分	式	1			第 2号表 M0001
- - - - バックホウ掘削積込(土砂) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³)	m ³	170			第 4号表
- - - - 砂基礎工(機械施工)10m ³ 以上	m ³	60			第 5号表 M0003
- - - - 管路埋戻工(機械埋戻・バックホウ) バックホウ 山積0.28m ³ (平積0.20m ³) 路床材 再生盛土材	m ³	100			第 6号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 各種	m ³	10			第 7号表
---- 残土運搬・処分工 粘性土	m ³	160			第 8号表 M0004
---- 仮表層（車道・路肩部）	m ²	15			SP 6号表
---- 仮表層（車道・路肩部）	m ²	168			SP 7号表
--- 管布設工 HPEφ100	式	1			
---- 管据付工 PE管（融着接合） φ100mm 人力	m	120.9			第 10号表
---- 管継手工 PE管 融着接合（1箇所） φ100mm	箇所	3			第 11号表
---- 管継手工 PE管 融着接合（1口） φ100mm	口	27			第 12号表
---- 管切断工 PE管 φ100mm	口	4			第 13号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- ナイロンスリーブ被覆工φ100 (材・工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	120.9			M0009 第 14号表
---- ロケーティングワイヤー設置工 (材・工)	m	120.9			M0007 第 15号表
---- 埋設標識シート設置工	m	120.9			M0008 令和5改訂版水道事業実務必携 P66 第 16号表
--- 管布設工 FEPφ100	式	1			
---- 波付硬質合成樹脂管 (FEP) (道路沿い (地中)) 敷設 道路沿い施工	m	234			第 18号表
---- 埋設標識シート敷設	m	234			M0020 第 19号表
-- 構造物設置工	式	1			
--- 土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	30			SP 8号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 埋戻工	m ³	20			M0010 第 20号表
---- 残土運搬・処分工 粘性土	m ³	30			M0004 第 8号表
--- ハンドホール設置工	式	1			
---- ハンドホール設置工	基	4			900×900×900 SP 10号表
---- ハンドホール設置工	基	1			900×900×1300 SP 11号表
---- コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	孔	20			SP 12号表
-- 仮設工	式	1			
--- 土留工	式	1			
---- アルミ矢板建込・引抜工（両側分）0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下	m	4.1			M0012 第 21号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 腹起材・切梁材 設置撤去工(軽量金属) 1段(両側)	m	4.1			M0016 第 24号表
---- アルミ矢板 賃料・基本料	式	1			M0014 第 25号表
---- 腹起材・切梁材賃料 1段 矢板長2.0m (両側)	m	4.1			M0013 第 26号表
---- 腹起材・切梁材 基本料	式	1			M0015 第 27号表
--- 交通誘導員	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 28号表
直接工事費計					
工種区分 No. 63 開削工事及び小口径推進工事等					
共通仮設費 (一般交通影響あり(2))	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費 矢板	式	1			M0011 第 29号表
試験費	式	1			M0019 第 30号表
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (一般交通影響あり(2))	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
請負工事費					

M O O O 2

AS穀運搬処分

第 1号表

金 円 10 m3 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
穀運搬	m3	10			SP 3号表
AS穀処分費 静岡つばさアスコン リサイクル工場 岡部町岡部1439-2	m3	10			
計					
単価	m3				

M O O O 1					
AS濁水運搬処分					
第 2号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離: 2 5. 3 k m以下	台	1			第 3号表
AS汚泥処分費 マーセリサイクル (株) 麻機工場 静岡市静岡市葵区北2242-129	m 3	0. 3			
計					

トラック運搬 (DID区間あり) 運搬距離: 25.3 km以下					
第 3号表					
金 円 1 台 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 2 t 積	時間				
諸 雑 費	式	1			
計					

バックホウ掘削積込（土砂） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ）					
第 4号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

MO003

砂基礎工（機械施工）10m3以上

第 5号表

金 円		100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工		m3	100			
再生砂（埋戻し用）		m3	126			
計						
単価		m3				

管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 再生盛土材					
第 6号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
路床材 再生盛土材	m ³	126			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

管路埋戻工（機械埋戻・バックホウ） バックホウ 山積0.28m ³ （平積0.20m ³ ） 路床材 各種					
第 7号表					
金 円 100 m ³ 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 排出ガス対策型（第2次基準値）	時間				
タンバ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
路床材 各種	m ³	120			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m ³				

<div> <div>MOOO4</div> <div>残土運搬・処分工 粘性土</div> <div>第 8号表</div> </div>					
<div> <div>金</div> <div>円</div> <div>100 m3 当り</div> </div>					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・4 t 積 (仮置き) バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) DID区間無し, L=0.3km, 土砂	m3	100			第 9号表
積込 (ルーズ)	m3	100			仮置き積み込み SP 4号表
土砂等運搬	m3	100			SP 5号表
残土処分費(粘性土) 駿遠開発事業 牧之原市切山594	m3	130			第2種建設発生土 L=1.30
諸雑費	式				
計					
単価	m3				

金 円 10 m3 当り						第 9号表	
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 4 t 積級 タイヤ損耗費：良好			日				
計							
単価			m3				

管据付工 PE管（融着接合） φ100mm 人力						第 10号表	
金	円	10 m 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工			人				
普通作業員			人				
計							
単価			m				

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所) φ100mm						第 11号表	
金 円 1 箇所 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
配管工						1	
		人					
普通作業員						1	
		人					
諸雑費							
		%					
計							

管継手工 PE管 融着接合 (1口) φ100mm						第 12号表
金 円 1 口当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				1
普通作業員		人				1
諸雑費		%				
計						

管切断工 PE管 φ100mm					
第 13号表					
金 円 1 口当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

MO009		ナイロンスリーブ被覆工φ100 (材・工)		第 14号表	
金 円 100 m 当り		油類及び有機溶剤浸透防止用			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
配水P用 ナイロンスリーブ φ100	枚	22			
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.22			
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	5.9			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MOOO7					
ロケーティングワイヤー設置工 (材・工)					
第 15号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ロケーティングワイヤー 100m	m	110			
普通作業員	人				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

M O O O 8					
埋設標識シート設置工					
第 16号表					
令和5改訂版水道事業実務必携 P66					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート (ダブル) 幅 15cm 50m/巻	m	100			
埋設標識シート工	m	100			第 17号表
計					
単価	m				

埋設標識シート工

第 17号表

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
普通作業員		人			
単価		m			

波付硬質合成樹脂管（FEP）（道路沿い（地中））敷設
道路沿い施工

第 18号表

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
電線管		m	100		
電工		人			
計					
単価		m			

1, #等:諸経費等対象額

M O O 2 0					
埋設標識シート敷設					
第 19号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
埋設表示シート W150 シングル	m	100			
諸雑費	式				
計					
単価	m				

MOO10埋戻工					
第 20号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し	m3	100			SP 9号表
路床材 再生盛土材	m3	126			
計					
単価	m3				

MOO12		アルミ矢板建込・引抜き(両側分) 0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下				第 21号表	
金	円	100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
アルミ矢板建込(両側分) 0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下		m	100			T0001 第 22号表	
アルミ矢板引抜き(両側分) 4.9t吊トラッククレーン 掘削深2.0m以下		m	100			T0002 第 23号表	
諸雑費		式					
計							
単価		m					

T O O O 1		アルミ矢板建込(両側分) 0. 2 0 m3級バックホウ 掘削深2. 0 m以下				第 22号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0. 2 8 m3 (平積0. 2 m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)		時間				
諸雑費		式				
計						
単価		m				

T O O O 2		アルミ矢板引抜(両側分) 4.9t吊トラッククレーン 掘削深 2.0m以下				第 23号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊		日				賃料
諸雑費		式				
計						
単価		m				

MOO16		腹起材・切梁材 設置撤去工(軽量金属)		第 24号表	
金 円 100 m 当り		1 段 (両側)			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸雑費	式				
計					
単価	m				

MOO14

アルミ矢板 賃料・基本料

第 25号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板賃料 H=2.0m		日・枚	52			
アルミ矢板基本料 H=2.0m						
計		枚	26			

MOO13		腹起材・切梁材質料 1段 矢板長2.0m (両側)		第 26号表		
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し 質料 80×115×2000		日・本	168			
アルミ水圧サポート質料 1500-2200		日・本	168			
水圧手動ポンプ質料		日・台	42			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MOO15 腹起材・切梁材 基本料					
第 27号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し 基本料 80×115×2000	本	4			
アルミ水圧サポート基本料 1500-2200	本	4			
水圧手動ポンプ基本料	台	1			
諸雑費	式	1			
計					

交通誘導警備員

第 28号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	18			9日、2人
計						

MOO11					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬費（往路） 12m以内 L=10km, G=0.278t	式	1			
仮設材等の運搬費（復路） 12m以内 L=10km, G=0.278t	式	1			
仮設材等の積み込み・取卸し費 現場搬入質量=0.278t, 現場搬出質量=0.278t	式	1			
計					

MO019		試験費		第 30号表		
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験		式	1			M0017 第 31号表
通水試験		式	1			M0018 第 32号表
計						

MOO17					
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験					
第 31号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験	件	1			
計					

通水試験工 φ800mm以下 既設管と連絡あり					
第 33号表					
金 円 500 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
器具損料及び諸雑費					
	%				
計					
単価					
	m				

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cm以下	SP 1号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝15cm以下，積込作業の有無＝有り	SP 2号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm以下），DID区間の有無＝無し，運搬距離（km）＝11.5km以下	SP 3号表
積込（ルーズ）	土質＝土砂，作業内容＝土量50,000m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（粘性土）	SP 4号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準，積込機種・規格＝バックホウ山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），DID区間の有無＝有り，運搬距離＝28.5km以下	SP 5号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝40mm	SP 6号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m以上3.0m以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝40mm	SP 7号表
床掘り	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模） ＊土砂の種類＝土砂（粘性土）	SP 8号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 9号表
プレキャストマンホール	作業区分＝据付，製品質量＝2000Kg／基以下，基礎砕石＝無しまたは円形断面以外	SP 10号表

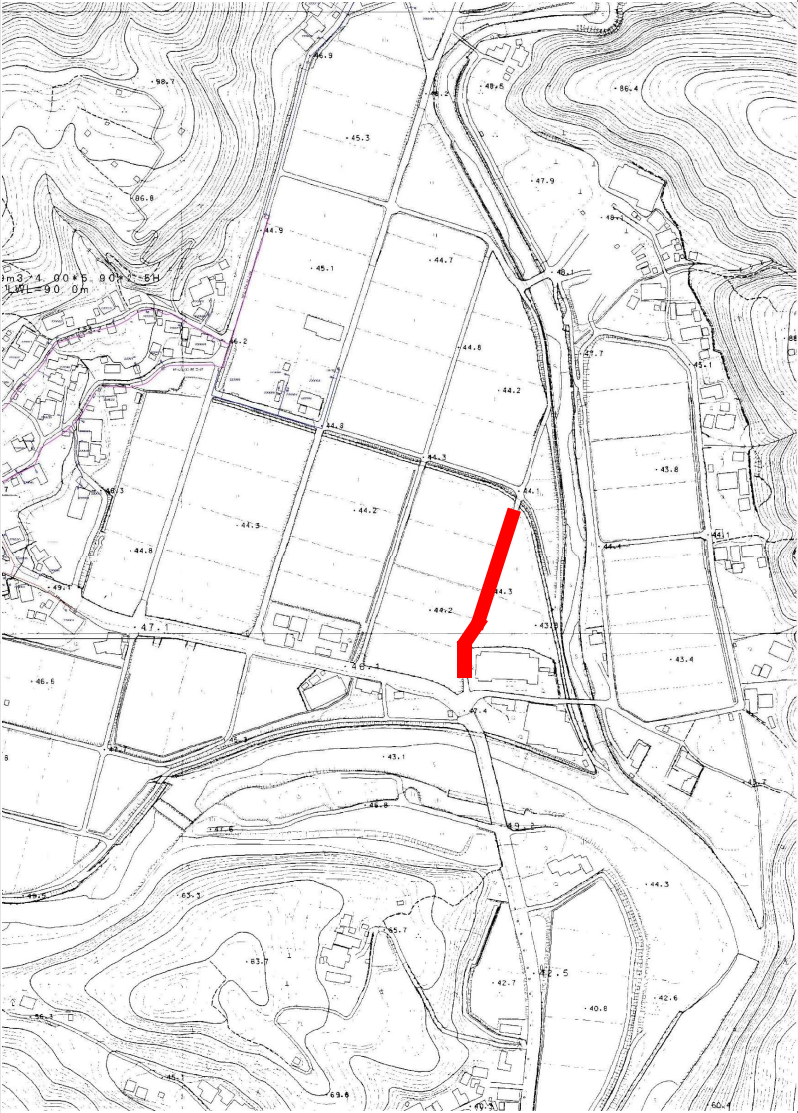
施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
プレキャストマンホール	* マンホール一式	SP 10号表
プレキャストマンホール	作業区分=据付, 製品質量=2000Kg/基以下, 基礎碎石=無しまたは円形断面以外 * マンホール一式	SP 11号表
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	削孔径=128mm以上160mm未満, 削孔深さ=50mm以上200mm未満	SP 12号表

地下埋設物調査書

(岡部町殿地内導水管布設工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管				中島	
ガス管		地下埋設物のないことを確認した		中島	紅林
大井川広域水道企業団		地下埋設物のないことを確認した		中島	
大井川土地改良区		地下埋設物のないことを確認した		中島	
NTTケーブル			NTTケーブル (県道部 影響範囲外)	中島	岡村
中部電力ケーブル			中部電力ケーブル (県道部 影響範囲外)	中島	高田
下水道管		地下埋設物のないことを確認した		中島	



数 量 計 算 書

岡部町殿地内導水管布設工事

藤枝市環境水道部上水道課

数量集計表

工 種	種 別	規 格	算 式	単位	数 量	備 考
土工						
管路土工				式	1	
	舗装版切断工	As t15cm以下	278.66	m	280	278.66
	舗装版破砕工	BH直接掘削積込	179.18	m2	180	179.18
	殻運搬処理	As殻 L=6.8km	179.18×0.05	m3	9	8.96
	濁水処理	舗装切断時	278.66×0.05×0.023	m3	0.3	0.32
	床掘工		173.5	m3	170	173.5
	埋戻工	砂	62.6	m3	60	62.6
	埋戻工	盛土材	99.74	m3	100	99.74
	埋戻工	流用土	8.64	m3	10	8.64
	残土運搬処理	土砂 L=27.3km	173.5-8.64	m3	160	164.86
	仮舗装工	再生密粒度As(13) t4cm W=1.4m以下	15.36	m2	15	15.36
	仮舗装工	再生密粒度As(13) t4cm W=1.4m以上3.0m未満	163.82	m2	164	163.82
管路材料		別途数量計算書		式	1	
構造物設置工				式	1	
	掘削工		$2.04 \times 2.04 \times 1.18 + 2.04 \times 2.04 \times 1.13 \times 3 + 2.04 \times 2.04 \times 1.630$	m3	30	25.8
	碎石基礎	t=10cm	$1.24 \times 1.24 \times 5$	m2	8	7.69
	ハンドホール設置	900×900×900	4	基	4	4
	ハンドホール設置	900×900×1300	1	基	1	1
	埋戻工	再生盛土材	$25.80 - 7.69 \times 0.1 - 1.04 \times 1.04 \times (1.04 \times 4 + 1.54)$	m3	20	18.87
	残土運搬処理	土砂 L=27.3km	25.8	m3	30	25.80
	コンクリート削孔	φ150	20	箇所	20	20
仮設工						
土留工				式	1	
	アルミ矢板建込(両側分)機械施工	掘削深2.00m以下	2.04×2	m	4.1	4.08
	アルミ矢板引抜(両側分)機械施工	掘削深2.00m以下	2.04×2	m	4.1	4.08
	支保工(軽量金属製)設置撤去	1段 軽量金属 水圧パイプサポート	2.04×2	m	4.1	4.08
	アルミ矢板・支保賃料		1	式	1	
	アルミ矢板・支保基本料		1	式	1	
共通仮設費積上げ分						
運搬費				式	1	
	仮設材の運搬(1車1回)往復	製品長12m以内	0.278	t	0.278	
	仮設材の積込み・取卸し	基地積込み→現場→基地取卸し	0.278	t	0.278	

名 称	規格・寸法	計 算 表	(m)	単 位	数 量	
管布設工						
【HPE φ100】						
ポリエチレン管布設工	φ100 据付工	120.890	120.890	m	120.9	
ポリエチレン管融着継手工	φ100 1箇所(2口)	ソケット他 3	3	箇所	3	
ポリエチレン管融着継手工	φ100 1口継手	直管他 27	27	口	27	
HPE管切断	φ100	4	4	口	4	
【管被覆工】						
ナイロンスリーブ被覆工及び ローテイングワイヤ設置工	φ100	120.890	120.890	m	120.9	
埋設標識シート設置工	材工	120.890	120.890	m	120.9	
【FEP φ100】						
波付硬質合成樹脂管敷設	φ100	116.92 × 2 = 233.840	233.840	m	234.0	
埋設標識シート設置工	材工	233.8	233.840	m	234.0	
【その他】						
交通整理人		管路土工 7 日 × 2 人 = 14 人				
		構造物設置工 2 日 × 2 人 = 4 人	18	人	18	

管路土工数量計算書

測 点	単 距 離	管 種	床掘		砂埋戻		盛土材埋戻		流用土埋戻		備 考
			断面積	土量(m3)	断面積	土量(m3)	断面積	土量(m3)	断面積	土量(m3)	
同時埋設	100.80	HPE φ 100									断面①
		FEP φ 100	1.43	144.14	0.52	52.42	0.89	89.71	-		
導水管 単独埋設	17.47	HPE φ 100									断面②
		HPE φ 100	0.59	10.31	0.21	3.67	0.37	6.46	-		
導水管 単独埋設	2.62	HPE φ 100									断面③
		HPE φ 100	0.62	1.62	0.21	0.55	-		0.39	1.02	
電路 単独埋設	1.81	FEP φ 100									断面④
		FEP φ 100	1.33	2.41	0.37	0.67	0.95	1.72	-		
電路 単独埋設	11.38	FEP φ 100									断面⑤
		FEP φ 100	1.06	12.06	0.37	4.21	-		0.67	7.62	
電路 単独埋設	2.93	FEP φ 100									断面⑥
		FEP φ 100	1.01	2.96	0.37	1.08	0.63	1.85	-		
合計	137.01			173.50		62.60		99.74		8.64	

舗装数量計算書

測 点	単 距 離	切断(土工時)		備 考	測点	単 距 離	仮舗装工		備 考
		本数	延長(m)				巾	面積(m2)	
同時埋設	100.80			t=5cm	同時埋設	100.80			
		2	201.60	断面①			1.46	147.17	断面①
導水管 単独埋設	17.47			t=5cm	導水管 単独埋設	17.47			
		2	34.94	断面②			0.60	10.48	断面②
電路 単独埋設	1.81			t=5cm	電路 単独埋設	1.81			
		2	3.62	断面④			1.03	1.86	断面④
電路 単独埋設	2.93			t=5cm	電路 単独埋設	2.93			
		2	5.86	断面⑥			1.03	3.02	断面⑥
ハンドホール	2.04			t=5cm	ハンドホール	8.16			
		16	32.64	N=4箇所			2.04	16.65	N=4箇所
合計					合計				
			278.66					179.18	t4cm
					1.4m未満			15.36	t4cm
					1.4m未満以上3.0m未満			163.82	t4cm

[illegible]

アルミ矢板損料・運搬計算

工事名 : 岡部町殿地内導水管布設工事

矢板・支保工
総重量 0.278 t

区間	矢板長2.0m区間				
施工延長	L=	4.08 m	日進量	L=	12 m/日
矢板長さ	L=	2 m	矢板幅	W=	0.33 m/枚
支保工	N=	1 段	両側・片側	2 (両側:2、片側:1)	
換算施工日数	延長 日進量 D= 4.08 ÷ 12 = 1 日			使用日数	4.1 ÷ 4.1 × 1.7 = 2 日
換算日進量	延長 施工日数 L= 4.08 ÷ 1 = 4.1 m				
矢板運搬重量	延長 矢板幅		矢板長さ	矢板単位重量	両側・片側
	W= 4.1 ÷ 0.33		× 2.0 ×	0.0056	× 2 = 0.278 t
矢板枚数	N= 4.1 ÷ 0.33		× 2 = 26 枚		
100m当り換算計算 日進量(供用) 100 × 1.7 ÷ 4.1 = 42 日					
腹起材(H-115×80×2000)					
	日進量	腹越長さ (m/本)	両側・片側	段数	
N=	4.1 ÷	2 ×	2 ×	1 =	4 本
賃料 (日×本数) t=	42 ×	4	= 168 日・本		
切梁材(水圧サポート)					
	腹起本数	単位本数	両側矢板		
N=	4 ×	2 ÷	2 = 4 本		
賃料 (日×本数) t=	42 ×	4	= 168 日・本		

※不稼働係数:1.7

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が 28.5% 以上の場合を 4 週 8 休以上とする。
- (4) 週休２日 対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休２日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、１週間に２日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が 28.5% 以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮 の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定)第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。